

総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究

「思春期・若年成人（AYA）世代の骨軟部腫瘍術後の身体機能・QOLを評価する優れた尺度の開発」

研究分担者 川井 章 国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 科長

研究協力者 小倉浩一 国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科

研究要旨：骨軟部腫瘍術後の身体機能（ADL）を総合的に評価可能な現時点で唯一の患者立脚型評価尺度である Toronto Extremity Salvage Score（TESS）の日本語版を作成し、多施設共同研究の枠組みを用いて計量心理学的特性（信頼性・妥当性）の検討を行った。また、我々が作成した骨軟部腫瘍患者の状態を包括的に評価可能な骨軟部腫瘍疾患特異的 HR-QOL 評価尺度（Comprehensive Outcome Measure for Musculoskeletal Oncology: COMMON）を用いた前向き臨床研究を開始した。

A．研究目的

運動器に生じる骨軟部腫瘍の治療においては、再発、生存率などの腫瘍学的な治療成績のみならず治療後の患者の身体機能やQOL維持に関する配慮が欠かせない。治療成績の判定においては、特に患者の視点にたったこれらの評価が重要であり、適切な患者立脚型評価尺度を使用した総合的評価を行う必要がある。本研究においては、AYA世代の骨軟部腫瘍患者の身体機能・QOLの適切な評価法の開発を行い、その治療成績向上を目指す。

B．研究方法

患者立脚型評価尺度の国際標準であるTESSについて標準的なガイドラインにしたがって翻訳・異文化間適合、計量心理学的特性の検証を行い、日本語版TESSを作成した。

（倫理面への配慮）

本研究に関係するすべての研究者はヘルシンキ宣言および「疫学研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施した。

C．研究結果

骨軟部腫瘍術後の身体機能（ADL）を総合的に評価可能な現時点で唯一の患者立脚型評価尺度である Toronto Extremity Salvage Score（TESS）の日本語版を作成し、多施設共同研究の枠組みを用いて計量心理学的特性（信頼性・妥当性）の解析を行った。その結果、TESS日本語版は、高い信頼性および妥当性を示すことが示された。また、我々が新たに作成したADL以外の患者の状態を包括的に評価可能な骨軟部腫瘍疾患特異的 HR-QOL 評価尺度（Comprehensive Outcome Measure for Musculoskeletal Oncology: COMMON）、TESS、SF-36を用いて骨軟部腫瘍患者のHR-QOL評価を行う前向き臨床研究を開始した。

D．考察

現在まで、わが国には、骨軟部腫瘍術後のADLを総合的に評価可能な患者立脚型評価尺度は存在しなかった。我々の研究により、TESS日本語版は、骨軟部腫瘍術後の身体機能（ADL）を総合的に評価可能な尺度として、年齢をとわず高い信頼性および妥当性を示すことが示された。今後は、これらの評価尺度を用いて、当初からの目的であるAYA世代の骨軟部腫瘍患者のADLならびにHR-QOLの特性について明らかにしていく予定である。

E．結論

骨軟部腫瘍術後の身体機能（ADL）を総合的に評価可能な患者立脚型評価尺度であるTESSの日本語版を作成し、多施設共同研究の枠組みを用いて計量心理学的特性（信頼性・妥当性）の検討を行った。我々が新たに作成した骨軟部腫瘍疾患特異的 HR-QOL 評価尺度（COMMON）を用いた前向き臨床研究を開始した。

G．研究発表

1. 論文発表

Akiyama T, Uehara K, Ogura K, et al., Cross-cultural adaptation and validation of the Japanese version of the Toronto Extremity Salvage Score (TESS) for patients with malignant musculoskeletal tumors in the upper extremities. J Orthop Sci. 22: 127-32, 2017.

小倉浩一，上原浩介，秋山達，他．日本語版 Toronto Extremity Salvage Score 下肢の開発 - 言語的妥当性を担保した翻訳版の作成．整形外科．67(3)；223-7，2016．

秋山達，上原浩介，小倉浩一，他．日本語版 Toronto Extremity Salvage Score (TESS) - 上肢の開発 言語的妥当性を担保した翻訳版の作成．整形外科．67(9)；933-7，2016．

H．知的財産権の出願・登録状況  
なし

